

平成24年度 第13回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 本庁地区2 ～



日時：平成24年10月16日（火）

午後7時00分～8時30分

場所：市立川越高等学校

## 参加者

自治会連合会第八支会、自治会連合会第九支会、自治会連合会第十一支会、南公民館運営協力委員会、南公民館登録グループ連絡会、中央南地区子どもサポート委員会、新宿小学校PTA、新宿小学校育成会、大塚小学校PTA、大塚小学校育成会、泉小学校PTA、泉小学校育成会、城南中学校PTA、野田中学校PTAの皆さん 36名

## 出席者

市長、風間副市長、宍戸副市長、政策財政部長、総務部長、市民部長、福祉部長、都市計画部長、建設部長、学校教育部長

## 意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	4	子宮頸がんワクチン助成	9
		こども医療費	9
		インフルエンザのワクチン接種への助成	9
		高齢者リスト・要援護者リスト	23
教育・文化・スポーツ	7	学校の大規模修繕	14
		小学校の修繕	14
		エアコンの設置	14
		通学路の整備	14
		図書館の設置	14
		放課後児童クラブの設置	14
		いじめ問題	16
都市基盤・生活基盤	7	都市計画道路の進捗状況	3
		交通事故が多い交差点の安全対策	4
		自転車道路の整備	6
		公園の設置	10
		雨水対策	18
		西口の開発	19
		久保川・不老川の改修計画	22
環 境	2	有料化のワークショップの結果	6

		ごみの減量化	16
地域社会と市民生活	1	自治会加入の促進	4
行 財 政 運 営	6	新斎場の進捗状況	6
		斎場の跡地利用	11
		タウンミーティングの目的	12
		川越市の予算	12
		市役所の西口移転	19
		職員数	21
計	27		

## 意見交換（要約）

### 《都市計画道路の進捗状況》

**意見** 岸町二丁目は、皆さんご存じのように、16号国道と新河岸川に挟まれた細長いところでございます。下流のほうから一丁目、二丁目、三丁目と、三丁目が一番上流でございます。

私、今日2つほどお話があるんですけども、1つは、交通の問題でございます。16号国道から岸町二丁目を通って所沢街道に抜ける人、また所沢街道から二丁目を通って254へ抜ける人、また一丁目を通って16号へ抜ける人、これは子供の通勤時間帯、7時半から8時ごろに非常に込みます。それで交通事故も、月に一度ぐらいは起きております。そういうことで1つお聞きしたいんですけど、現在、砂中の前に計画道路が途中までできておりますけど、これについては恐らくバイパスから16号のほうにつながるんでしょうけど、これがいつごろまでに完成されるのか。また、新河岸のほうから来て、今、不老川のところで計画道路がとまっておりますけど、これから三丁目を通って恐らく所沢街道、またこの学校の前の計画道路のほうへ通じる計画があると思いますが、これについても、いつごろ完成されるのか聞きたいと思っています。

**建設部長** まず、1点目の砂中前の道路、都市計画道路の寺尾大仙波線という道路になろうかと思いますが、この道路は、計画のエリアといたしましては、北が川越警察署のところから始まりまして、ずっと南下いたしまして砂中のところで川を横断して県道今福・木野目線まで行って、その後、新河岸駅周辺が今、区画整理区域となっておりますが、この区域の中を縦断する、こういった都市計画道路なんですけど、建設部で今行っておりますのは、砂中のわきから河川を渡って、今、橋梁が完成いたしましたけど、その続き、南側の県道の今福・木野目線までの区間を、今、建設部で事業を行っております。地権者様からの土地の提供があと一步というところまで来ておりますので、これが終われば早急に建設、道路工事というふうな運びになると思いますので、まだ地権者様のご協力がいただけませんと、明確な日程というのはなかなか申せないところがございますが、目標といたしましては、仮に今年度中に地権者様のご了解をいただければ、来年25年度ないし26年度には県道の今福・木野目線までは完了させたいというふうに考えております。

それから、もう一点、不老川でとまっているところ、砂新田の区画整理の中の道路だというふうに思いますが、駅方面、新河岸の駅方面から来ますと、区画整理の中を通って右にカーブをしながら不老川の手前でとまっている。これは、今お話ございま

したとおり、この道路は不老川を渡って、そのまま県道川越所沢線、今、ガソリンスタンドがここでなくなっていましたけど、あそこの交差点まで出て、そのまま川越高校方面に来る都市計画道路でございまして、これも今のところまだ具体的な整備スケジュールは立ってはおりませんが、この岸町も当然ながら川越市の市内の渋滞緩和のためには、かなり重要な路線であると認識しておりますが、ただ、いかんせん具体的な事業スケジュールについては、今のところ、まだ立っていないという状況でございます。

#### 《交通事故が多い交差点の安全対策、自治会加入の促進》

**意見** うちの町内も国道16号を挟んで両サイドに町内が分かれております。その中で河岸街道、ちょうどロヂャースの裏側になりますけど、昔はほとんど川越街道から河岸街道を通過して狭山のほうへ車が運搬する、そういった街道でございまして、11月1日から6月20日まで8件の交通事故が発生しております。それは、民家の塀を2回も壊している、あるいは自動車あるいは軽自動車の衝突、それから人身事故、普通車と自転車、あるいは普通車と子供、そういったことがありまして、非常に当町内においても困っております。安全・安心ということで、まず自治会としましては、交通安全の標語をつくって、そういったうたい文句を出してやっているわけですけど、非常にその事故が多いわけですね。

いろいろJAFのニュースなんかを見ると、目の前の信号を見落とすシーン、そういったことがあります。特に、変則的な六叉路になっております。この六叉路があって、ここで跳ねて、車が民家の塀を壊す、あるいは人身事故で、十数年前にここに死亡事故が出ております。この死亡事故で、ここへ大きなコンクリートの塊を置いて事故を防いでおります。そういったことで、この通りは、非常に最近、ロヂャース、マツモトキヨシ、この辺があるもんですから、非常に交通が激しいんですね。そういった面で頻繁に起きる。そのたびに、私は、警察あるいは市役所、そういったところへ行って、あるいは民家を訪ねていろいろ注意を聞いてみたり、そういったことをしております。ぜひそういった面では、川越市としても、なお一層の交通事故対策、これをぜひお願いしたいと思っております。

今のところは、ガードレールを1カ所つけて、さらに交通横断歩道にバーもつけて、さらにお願しているわけですけど、点灯の道路標識の表示検討、そういったものを出しておりますが、まだ今のところはそれが出ておりません。そんなところで、それをぜひひとつよろしくお願したいと思っております。

それから、もう一つは、先だって、川越市自治会連合会が川崎のほうへ研修に行っ

てきました。川崎市の連合会といろいろ意見交換しました。その中で、川越市におきましても、少子・高齢化そういったことで、自治会員、この加入ですね、これが最近非常に落ちております。川崎も、当初70ぐらいあったんですが、今現在50何%、そういったことを言っていますし、川越市でも市の話では80%ぐらいの加入率というのがあるんですが、実際にはそこまでいないと思うんですよね。

さらに、最近は、アパート、マンション、そういったところは大半未加入で、そういったところも出てきております、特に高齢者におきましては。これは自治会の自主活動ということで強制はできないかもしれないですけど、非常にそういった面が多いもんですから、行政のほうで市民活動支援課のほうでそういうパンフレットをつくって、自治会に加入していただいけませんか、自治会に入りますと、こういった行事がありますよ、こういった内容がありますよ、そういったことで、自治会に入るとこういったメリットがあります、そういったことをぜひ川越市としてもうたっていただきたいと思います。特に、川崎では、こういった行政でこういったパンフを出して、転入者に対してすべてこれをお渡ししているそうです。自治会でもこういったことはやっているんですけど、やっぱり行政のほうでこういったことをやってもらえれば、そういった面が一層うまく活用できるんじゃないか、そのように感じて、今日意見としてお話ししました。ぜひ回答をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

**市長** ただいまのご要望だと思うんですが、1つは、交通事故の多発場所についての対応ということで、短い期間にいっぱい事故が起こっているということは、交差点の構造とか、そういうのに問題があるんだろうと思いますので、警察とよく相談しながら対応をしていきたい。今、ガードレールのご要望を出されているんですか。そういう問題についても、しっかりと警察と一緒にやっていきたいというふうに思います。

それから、自治会への啓発活動は、入るよという、そういうパンフレットとかそういう問題につきましては、前向きに考えたいと思いますので。

**意見** 市長さん、その辺については、今、手配して全部やっていますから。パンフレットはあるんですけど、それをつくる手配はもう済んでいます。ただ、それをどういうふうにするかについては、また市長さんのほうにお願いをして、いろいろご意見をいただき、役所の窓口でお願いできるようにお願いしたいなというふうに考えております。

#### 《新斎場の進捗状況》

**意見** 1点、斎場についてお尋ねいたします。市長さん初め、市民部長さん、一生懸

命努力して着実に進行しているということはお伺いしているわけですが、数多い市民の中には異なった意見もあるようなので、市としては大変なことだと思いますけれども、その後、現状について、今の進捗状況についてお聞かせいただければありがたいと思います。よろしくをお願いします。

**市長** 斎場については、農振除外の手続がもうほぼこの9月末ぐらいで完了したと。ただ、それに対して異議申し立てが出ると、最終的に確定するまで時間が数カ月延びてしまうという、そういう面があるんですけども、一応そういう段階です。

都市計画決定のほうも、今のところ順調にその手続を進めているんですが、その農振除外について異議が出ると、都市計画のほうの手続も一時的にとめておかざるを得ないという状況です。

ですから、手続的には順調に進んでおります。ただ、その手続に異議を申し立てられる方が出てくると、通常よりは若干、数カ月時間がかかってしまうという、そういう現状です。

**市民部長** もうちょっと若干ご説明させていただきますけど、今年度に一応基本設計を行いまして、来年度、実施設計を行うという予定でございます。市長が言ったように、今年度中に都市計画決定をして、何とかできるだけ早く事業に着手したいというふうに考えておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

#### 《自転車道路の整備、有料化のワークショップの結果》

**意見** 私は、環境推進委員のワークショップ、ごみを有料にするためのワークショップに出てまいりました。自転車で行って自転車で帰って、大変怖い思いをしましたので、まず、自転車のことからお尋ねします。

川越も自転車道を整備されていますけれども、整備されていると言っても名ばかりで、バスがとまっているのはしょうがないとしても、病院に食料を搬入するために車が長い間とまっている。もしくは、まるひろの駐車場に入るために、車が列をなして自転車通行帯にとまっている。そういうことがよく見られて、そのたびに自転車は、歩道のほうに行けば、何か歩道のほうからうさんくさい目で見られて、道路のほうに行けば、舌打ちしながら横をいろいろな車が通っていくという状態になっていますけれども、こういうことの改善はできるものでしょうか。優先道だと思うんですけども、ただでさえ自転車取り締まりが厳しくなっていて、優先道に入れなくなると、余計に被害者意識が大きくなると思いますか、非常に不愉快な思いをしているのが現状です。

自転車のパーキングが駅前に広いのができましたけれども、値段が高いので、せめ

てワインコインだと、ワンコインというのは500円という意味じゃなくて、100円という意味ですけど、ワンコインだったらもうちょっと入るかなと思っても、民間のというので余り相手にされないし、非常に今不愉快な思いをしています。

もう一つは、ごみの有料化のワークショップに行ったという件についてですけども、その中で、市民が出すごみの中には紙類が多いという話を聞きました。確かにそうだと思います。例えば包み紙をくしゃくしゃに破いた場合、もう包み紙がてらてら光っていたならば、それをコーティングしているから出してはだめなものに入るのか、それとも一般紙ごみとして出せるのかということを考えて、つつい簡単な、焼いてしまうような生ごみのごみに入れてしまうのが現状です。ごみというか、回収資源の再生過程、どういうものがどういうものになるのかななどの情報は、確かに若干はパンフレットに記載されてはいますけれども、その再生過程で何が問題になるから分別しているのかとか、何が問題になるからこういうふうに出さないでだめなのかとかいう情報は非常に少ないので、もう少しそういう情報を出していただきたいと思います。

それから、そのごみ有料化のワークショップでも、市民の意見に水をぶっかけるような先生がいらっしゃいまして、大変おもしろかったんですけど、その内容がどうなったのかということも、私たちにはまだまとめが届いておりません。こういうこともなるべく早く提供していただかなくては、市民の側としては、市はやらせるだけやらせておいて、何も情報は出ないんだという思いを強くするのではないかと思います。

**建設部長** 自転車の走行環境に関する、まずご質問でございましたが、なかなか限られた、特に旧市内ですと、限られた道路幅員の中で自転車の専用のレーンを確保するというのは大変厳しい状況であろうというふうに思います。例えば、広い都市計画道路等をつくった場合には、それなりに暫定的にでも自転車も通れるような走行空間をつくることは可能かと思いますが、市内にある一般道については、明確に自転車の走行環境をつくるようになりますと、道路を拡幅しなければいけませんし、道路を拡幅するとなると、大変な時間と財源も必要になってまいります。そういったことを考えますと、できるだけ自転車の走行環境をよくするためには、現道を有効利用するとなると、これは大変極論になるかもしれませんが、例えば、2車線の道路を1車線化して、要は一方通行化することによって、1車線を利用して、歩行者や自転車専用にするだとか、現道を利用する場合にはそういった工夫も必要かというふうに思いますが、こういったことを実現化するには、沿道にお住まいの方々を初めとして、地元の皆様方のご協力がなければなかなか実現はできないのかなというふうに考えております。



ただ、一方で、今ご指摘ございましたとおり、市内の自転車のネットワーク化というのはなかなか実はできていません。旧富士見有料道路には埼玉県が自転車道をつくっておりますけれども、川越市の市街地の縁辺部までは来られますけれども、市街地の中に入ると、先ほどご指摘ございましたとおり、なかなか自転車の走行環境は厳しい状況だというのは私も実感しているところでございまして、そういったことで物理的に空間をつくるのは厳しい中、そのほか、例えば自動車の交通をある程度規制するですとか、要は、今ある道の使い方をいろいろな方面から、切り口から工夫してうまく利用すると、そういった方策を検討することは必要かなというふうに考えております。すなわち道路整備だけではなくて、総合交通的な、あるいは通学路を含めまして、歩行者安全対策ですとか、そういったさまざまな切り口から、皆さんで、今ある道路幅員を有効に安全に活用するにはどうしたらいいのかという、そういった議論も必要ではないかというふうに考えております。

**市長** ご質問の趣旨は、ほかの問題も含んでいたかと思うんですが、今ある自転車専用道にいろいろ妨害的な車がとまっていたり、あるいは物が置いてあったり、そういうものを改善できないかという、そういう部分もあったかと思いますが、これは、警察によって改善できる部分だと思いますので、市民の皆さん方にそういう自転車道を妨害しないような、そういう工夫をしてくださいという、そういう働きかけはやっていきたいというふうに思います。

あと、ワークショップの結果を早く公表してほしいということは、ちょっと今、環境部長がいないので、現状どうなっているのか、何ともわからないんですが、確かにやったその結果については、できる限り早く、特に参加された方を中心に周囲の皆さんにもお知らせすべきだと思いますので、これはなるべく早く対応したいというふうに思います。

ごみの分別の理由等につきましては、以前にも広報紙などで、その情報を流したことはあろうかと思うんですが、皆様方になるべくわかっていただくために、その理由がわかったほうが分別する気になる、あるいはしなきゃという気持ちになっていただけるといふ面もあると思いますので、これもぜひ広報を努力していきたいというふうに思います。

**総務部長** 数年前になりますけど環境部におりましたので。それぞれ市によってリサイクルの分別の関係は大分違っておりますので、今、紙のお話がございましたけれども、紙でも、今お話にあったアート紙であるとか、新聞、段ボール、それぞれ確かに分別して、流れていく先が違いますので、私もこの紙はこうなりますということが具

体的に今説明できませんので、これにつきましては、今、市長が申し上げたとおり、広報等に努めていくように担当に伝えたいと思いますけれども、物によって、かなり皆さんのご理解と違うような流れ方をするものもあるように聞いておりますので、そういった部分も含めて分別をお願いをしている市の立場といたしましては、理解していただいた上でご協力をいただくという姿勢は必要と思いますので、気をつけていきたいというふうに思います。

**意見** 流れが違うのがあるとおっしゃいましたけど、それは具体的にはどういうことでしょうか。

**総務部長** 例えば金属類などは、分別をしていただく形がありますけれども、直接市のほうで何かをすることかということではなくて、当然一定の処理をして、固めるだとか、鉄やアルミニウムに分類をして、それを業者さんのほうにお渡しをして、それぞれの業者さんのほうでリサイクルにさせていただくという形もございますし、また、物によっては、市の今、つばさ館がございますけれども、あちらのほうで粗大、家具類などは、あそこで回収をして、皆さん方、有償で頒布するといったルートもございますので、そういった部分も含めて、その分別した内容によって流れ方が違うということでございます。

#### 《子宮頸がんワクチン助成、こども医療費、インフルエンザのワクチン接種への助成》

**意見** 今回このタウンミーティングに参加に対しまして、数名の保護者の方からヒアリングを受けてきてまして、たくさん意見が出されたんですけど、そんな中で1点、子供たちの医療費についてでございますが、現在、川越市では、子宮頸がんのワクチンですか、助成いただいているということで、比較的早い時期から助成いただきまして、特に私のように女の子3人の父親としては大変うれしい気持ちでいっぱいでございます。どうか24年度に限らず、25年度以降もぜひ引き続き継続していただけないか、これは1点目、お伺いというかお願いでございます。

2点目でございますが、現在、小学生の医療費については無料化されておりますが、これ中学に入りますと、塾に通ったり何なりで、家庭の支出も大変以降も厳しくなります。どうかこの医療の無料化ですか、小学校のみならず義務教育ということで中学もしていただけないか、これが2点目でございます。

最後の3点目なんですけれども、川越市では、今、65歳以上の高齢者に関しましては、インフルエンザのワクチン接種、これが自己負担1,000円ですか、これで受けられると聞いております。小学校、中学校ともに時期が来ますと、学級閉鎖のみならず学年閉鎖、学校閉鎖まで及ぶような学校も出ております。どうか、無料とは言いませ

るので、この高齢者と同じぐらいの負担で受けられるように、ぜひ検討していただけないか。以上、3つ、お願いになっているけれどもよろしくご検討いただければと思います。

**市長** こども医療費につきましては、今年の10月から小学校6年生まで、入院の医療費も全部無料化ということになったと思うんですが、できるだけ早い時期に中学校3年生まで無料化にしたいというふうに考えております。

子宮頸がんのほうは、今、市と県でやっているんですけど。市のほうが助成しますよと、補助を出しますよというふうに言った直後ぐらいに、県のほうもやりますよというような、そういうようなことを言ってくれたようないきさつがあるかと思うんですが、一度始めたことをやめますというのは、なかなか正直言って言いにくい部分がございますので、前向きに検討したいと思います。

### 《公園の設置》

**意見** 1点だけ、切実なる要望をお願いしたいと思ひまして、今マイクを持たせていただきました。それは、新宿町六丁目は、現在、所帯数が1,235所帯、それでさらに現在の状況ですけれども、集合住宅、戸建て、そういった新しい住宅が今どんどん増えていって、もう既に20所帯がこれに加わるというような情勢下でございます。

そこで、そういう大きな所帯を構えているまちなんですけれども、公園が一つもないと、これなんです。公園をどうにか1つです、2つとは言いません、1つだけぜひ設置していただければ、これははっきり言ひまして、子育て所帯、もちろん高齢化の方も含めて、どうしてもうちの新宿町六丁目は公園がない、1つ欲しいんだと、ちょっと憩いの場が欲しいんだという声、これは民意でございます、はっきり申し上げまして。

実はさかのぼること、川合市長様の初めてのタウンミーティング、平成21年8月でしたけれども、ここで、市立高校で、またそのとき開かせていただいたんですけれども、そのときに挙手で、私はこの同じ要望をしております。要望書も一応つくりましたためまして、市のほうへ提出したんですけれども、ご返事、おはがきをいただきました。非常にありがたかったんですけれども、内容といたしましては、やはり市の財政が困窮している、そういったものも切々とつづられた文面でございます、それはもうもちろん私たちとしても、そういう事情があればということもございましたけれども、まずはそれとあわせて、自分としては、公の地がないと土地がないんだ、これがやはり一番のポイントだったんじゃないかと思ひますし、ならばほかに何かあるんじゃないかろうかということで、この8月ごろ、7、8月ごろ、市議会議員さんの

応援も受けて、公園整備課のほうにお伺いいたしまして、その旨、同じような要望をお話してまいりました。

そういった経過を踏まえて、やはりこれをどうしても、プラス自治会の要望する要因としましては、現在、我々のまちで納涼大会等を開かせてもらっているのが新宿小学校の駐車場なんですね。これはアスファルト地で、やはり本当に何か高齢者の方は非常にひざとか腰に来ちゃうというのもございますし、ましてや公園があれば、設営がゆったりとできて、後始末も時間をかけてやれるんですが、今のところはにわかづくりで、土曜日につくって日曜日、次の日はもうやはりこれは学校ですので、いろんな開放委員のあれで使っていますので、やはりその辺をすぐ対応しなきゃいけないという難しさもございまして、そういったものも背景にございますので、どうか要望をひとつよろしくお願ひしたいということでございます。ありがとうございました。

**市長** 多分、平成21年度にお話をいただいたときも申し上げたかと思うんですが、本庁管内の南のほうから高階地区にかけては、川越市の中でも一番1人当たりの公園面積が少ない地域だということは認識しております。しかしながら、いろいろ、土地の値段が高いとか、そういうようなこともございまして、なかなか思うように公園づくりは進展しないんですが、皆様方の強い要望があるということをしかり認識して対応していきたいというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

#### 《斎場の跡地利用》

**意見** 先ほど斎場の件のお話が出ましたけれども、地権者の関係で若干おくれるかもしれないというような計画のお話でしたけれど、現状の斎場の跡地利用の件でお尋ねします。

何年か先になって、何かその跡地利用の計画があるかどうか、もしあるんだとしたら、こんな計画があるよと、あるいは市の土地になっておりますので、何か地元でここを利用できるようなものがあればいいというようなことであれば、お話しいただけたらと思ひますが、よろしくお願ひします。

**市長** 現斎場の土地が、新しい斎場ができたときにどうするかということについては、正直言って、今のところまだ何も考えておりません。検討は始めていないという、そういう状況です。もう何年かしましたら、こちらの新しい斎場のほうの稼動がはっきり見えるぐらいの工事が始まるぐらいの時期になれば、検討に入らなければということになるかと思ひますが、少なくとも現在のところ、何も考えていないというのが現状です。

## 《タウンミーティングの目的、川越市の予算》

**意見** 1点目は、24年度このタウンミーティング、13回目を迎えてございますけれど、このタウンミーティングの趣旨たるものが何ぞやと、これをまずお聞かせ願いたいなと思います。例えば市長さんの肥やしになるんだらうか、そうじゃなくて、予算のヒアリングが恐らく1月か2月にならうかと思いますが、そのときの一つの点数に数えさせていただけるとはならないかなとか、何かこのタウンミーティングに大きな目的があるような感じがしますけど、先ほどあいさつを聞きましたら、その内容をこれって聞いてございませんので、お聞かせ願いたいなと思います。

それと、もう一点、ここ4、5年はっきり言って、川越市の予算は上昇を転じていないと思うんですけど、こういう諸々のお話を聞いて、住民はやってほしいなということがいっぱいありますから、ここで、お金がない中で、こうしてほしい、ああしてほしいというような話は、もうはっきり言って私はできないんじゃないかなと思います。ですが、経常経費は今こういう状態に来ているから、一律何%切る、こういうやり方は非常に情けない話だと思いますから、そういう切り方はしないでください。よろしくお願いします。

**市長** なかなか難しいですね。1つは、タウンミーティングの趣旨ですけれども、市のような自治体の仕事、存在目的は何かというと、市民、住民の皆さんの福祉の向上、別の言葉で言うと、より市民の皆さんにとって住みやすい、快適な、利益になる、そういうようなことをやるというのが自治体の使命、目的であるはずで、タウンミーティングを私がやろうというふうに考えたのは、市民の皆さんのご要望であるとか、そういうようなものについて、いろいろな形で、例えば市議会議員さんを通じてであるとか、ストレートに要望というそういう形で市のほうに持ってこられる方もいらっしゃるし、いろいろな形でそういうものが出てくるんですが、市民の皆さんに直接会って、どのようなご要望をお持ちなのかとか、あるいは今の市政に対してどんなご意見をお持ちなのか、そういうようなものを聞かせてもらうことによって、市の行政を進めていく上での一つの資料といいますか、そういうようなものにさせていただきたいという、そういう趣旨であります。

それから、川越市の予算について、厳しいから一律削るといって、例えば補助金を一律削るとか、そういうのはやめてほしいなという、そういうご意見だったと思うんですが、やらなければならないとか、やりたいこと、やったほうが良いという事業はいっぱいございます。つくらなければならないもの、斎場を初めまだまだたくさんある。それから駅周辺の整備であるとか、そういうものにもお金がかかります。今、新河岸

駅周辺にかなり力を入れてやっていますけれども、一通りめどがついたら、今度は南古谷をやらなければならないだろうし、そう遠からず市駅周辺も今の状況のままでは、踏切も含めて改善をしていかなければならないだろうという、そういうような形で、やらなければいけない部分いっぱいあるんですよ。

そういう新しいことでなくても、例えば学校については、もう30年、40年、大規模改修をやっていないという学校がいっぱいございまして、そういうのも順次改修していかないと、トイレがぼろぼろになってしまったとか、そういうようなことも出てしまうものだから、やらなければならない。それから道路だって、つくって50年間何もメンテもしないで使えるのかということ、そうではなくて、やっぱり交通量にもよりますけれども、10年、15年たつと路面がでこぼこしてぼろぼろになってしまうから、必ず舗装し直さなければならないというのが、市道すべてについて言えるわけですから、そういう新しくないこと、改修とか現状を維持するためのお金でもいっぱい出ていくわけですよ。

そういうようなことを考えますと、それから一方では、これから先、高齢化・少子化で住民税も先行き伸びていくのかということ、どっちかということ減少傾向にあるわけですよ。ですから、どこかであるレベルで均衡できるように、何と言ったらいいんでしょう、どうしても出さなければならないものとか、そういうものは削るわけにいかないものだから、つつい補助金とかそういう部分について、当面ちょっと減らさせていただきますというような、そういうような対応にならざるを得ないという、そういう面が正直言ってございます。

もちろんそういう補助金等を減らすと、活動が十分できなくなってしまうという、そういういろんな団体さんからのご意見も多々ございますので、極力入ってくるほうを工面して、そういうものの皆さんのご要望のあるものについての支出を削っていくというのは極力少なくする、控えるようにしていきたいというふうに思っておりますので、ぜひご理解をいただきたいというふうに思います。

**意見** 本当に難しいお話をしていただきまして、ありがとうございます。切るばかりじゃなくて、お金を回す方法を一応考えるべきでなかろうかなと思います。やはり行政側の住民サービスと、これがはっきり言って行政が生きる大きなものじゃなかろうかなと思いますので、大々的に再開発費用というのは、これは何十年もかかることでございますからね。やはりその場その場で生きる人にどれだけ行政がいい顔をしたなと思えるのを与えてほしいなと思います。よろしくお願いします。

**市長** 貴重なご意見ありがとうございます。

## 《学校の大規模修繕》

**意見** 先ほど市長がおっしゃられていた学校のほうの大規模修繕についてなんですけれども、古い建物がたくさんあるとおっしゃいましたが、順番というのは決まっているのでしょうか。新宿小ももう30周年たちまして、かなりなっているんですが、やはりトイレが汚くて、子供が入りたくない、特に大便なんかはほしくないだろう。1日学校過ごして帰ってくるという、そういう子供がいたりだとか、エアコンもなくて、3階建てなんですけど、かなり上は暑く、扇風機も壊れた状態で授業をしているという感じなんですけど、順番はあるのでしょうか。

**市長** 役所でいうと教育総務部の担当なんですけれども、今年、その大規模改修についての計画というのは、教育総務部が担当しておりますが、新宿小が何番目だったのかとか、そういうことはすみませんが、頭の中に入れておりません。

**意見** 今はわからないということですよ。30年たっていますけど、40年たつてるところもまだあって、修繕していないところもある。

**穴戸副市長** 30年、40年、50年という建物、随分あります。コンクリートの耐用年数ってありまして、大体、昔は60年と言ったんですけど、今、47、8年ぐらいの耐用年数なんです。ですから、古い順からになると思います。ただ、単純に年数だけじゃなくて、雨漏りだとか、その立地条件によって、早急に修繕しなければならないところもありますので、先ほど順番と申し上げましたけれども、なかなかそれが一概に決められない状況になっています。したがって、今現在その建物の修繕が必要な状況とかを今一生懸命勉強してございますので、そこら辺で緊急性の高いところから手をつけていこうというようなイメージで、今、計画を今、教育総務部のほうでつくっているという状況でございます。

あと、やはり市長から先ほど申し上げましたように、お金が随分かかりまして、冷房の話もございましたけど、冷房も1つの教室を冷房化すると、大体1教室工事だけで200万から250万ぐらいかかってしまうんですね。川越市内50何校もあるわけで、冷房につきましては、なかなかそこまで手が回っていない状況でございます。

ただ、先ほど申し上げましたように、大規模につきましては、本当に緊急なところから手をつけていくことで、今、勉強をしていますので、その勉強の内容をちょっと今後加速させますので、もう少々お待ちいただきますようによろしくお願ひします。

## 《小学校の修繕、エアコンの設置、通学路の整備、図書館の設置、放課後児童クラブの設置》

**意見** P T Aのほうで、保護者に今回のタウンミーティングにあたり要望を聞いてま

いました。幾つかございますので、お願いいたします。

先ほどの新宿小さんのほうもおっしゃっていただきましたが、やはり大塚小も大分学校の設備が古くてぼろぼろなので、何とかしていただきたいということと、エアコンをつけてほしいというのが大きな要望でした。

あと、通学路の整備は、道路のことについても少しかかわると思うんですが、道幅が狭い割には交通量が多くて、歩行者が歩行できるようなスペースも余り確保されていない中を子供たちが通学しているので、接触などひやりとする場面が結構多々あるんですね。保護者の方も、朝、立哨に立ってはもらっているんですが、いつ事故が起こってもおかしくないというような道も多く、ひやひやしていますので、道路を何とかしてほしいということです。

あと、このあたりに大きめの図書館があるといいなというお話をいただきました。こちらは予算のほうもあると思いますが、中学生、高校生も使えるような落ち着いた環境の大きな図書館、県立図書館レベルのものをつくっていただけるとうれしいなということです。

あと、最後に1点、放課後児童クラブのようなものはないんでしょうか。横浜市などでは、有償ボランティアも活用して、学校の空き教室を使った放課後児童クラブの運用というのがあるようなんですが、学童クラブに入り切れない子供たちが、放課後行き場がない、学校に、親が仕事に出ている間に、勝手に学校に行って遊んだりとか、安全が確保できないのではないかという意見がありました。たくさんありましたが、よろしくお願いいたします。

**市長** 基本的にはご要望という形で承らせていただきたいと思うんですが、通学路の整備につきましては、平成22年から比較的早期に対応できるような、例えば路面表示等をつけるとか、標識をつけるとか、そういうようなことについては、かなり積極的にご要望にこたえてやってきています。もちろんまだまだ足りない、手が届いていない部分も多々あることは間違いないんですが、そういうような形でやってきた。だけど、抜本的にはやっぱり道路を拡幅するとか、拡幅ができないんだったら、一方通行か何かにして歩道スペースを確保するというそういうような形での道路整備をこれから力を入れてやっていかなければならないというふうに考えております。ご要望のある通学路の整備箇所は極めて多いんですが、やっぱり手をつけないことには、いつまでたっても現状は変わらないという、そういう認識のもとに、少なくとも次年度からは、特に通学路に関しては予算を少し多めにとって、力を入れていきたいというふうに考えています。



それから、放課後児童クラブについては、学童保育があるとは思いますが、そこに入り切れていないお子さんがいらっしゃるということですか。その辺については、私は、大方の方が希望すれば入って、学童保育のほうに行かれているのかなというふうに思っていたんですが、そういうご要望が多いようであれば、今の学童の容量を増やすとか、あるいは違う形での何らかの対応策を検討していきたいというふうに思います。

#### 《ごみの減量化、いじめ問題》

**意見** 先ほどごみについても発言がありましたので、1点はその点。まだまだ市民の努力によれば、ごみの減量化等については進展できるんじゃないかと私は思います。それは、まだまだ市の広報活動、啓蒙活動が不足しているんじゃないかと、そういうふうに思います。もう少し我々にも宣伝をしながら、我々もそれに応えることをしていけば、ごみの減量化というのは私は可能だと思いますけれども、担当者はどうお考えになっているのか。

もう一つは、いじめの問題でありますけれども、報道の枠を出ないことですが、他のところでは、先生に事前に相談したけれども、先生は対応をしないで混乱事態に進行したというような例も報道ではあるわけですが、川越市でも学校の対応がどうなっているのかと、必ずいじめはあると思うんです。そして、子供同士の何といいますか、お互いの足の引っ張り合い、あるいはけんか等も含めて、児童・生徒のそういういじめによって困る状態が出ないように、現在の学校教育の面ではどういう対策をとっているのか、その辺についてお聞きできればと思います。

**学校教育部長** いじめ、学校の生徒指導に関係しているところから、私のほうで答えさせていただきます。先日、議会でも、いじめの再発防止を求める決議というものをいただきまして、アンケートの用紙の見直しだとか、相談しやすい窓口を設定するとか、あと子供たち自身での取り組みを充実させてほしいとか、いろいろな話がありました。

今もそうですけれども、PTAの方々と会議を持たせていただいて、PTAの方とか地域の方とお話をする中で、川越市の学校教育の取り組みを充実させていこうというような話をしています。あと、地域サポートのほうの関係でも、その中では子供たちを取り入れていこうというような話をしています。自治連合会のほうでも会長さん、支会長さんも心配していただいて、いろいろな面でご提言いただいたわけですが、学校教育だけでなく、学校を取り巻く家庭・地域と連携をしながらやっという、そういうこともまた大切だと思っています。

先ほどもありましたが、登下校の見守りの関係で大分ご尽力いただいている方もいらっしゃるかもしれませんが、学校だけでなく、多くの方々に協力していただいている部分を、今後もまた一層やっていただければありがたいと思います。

学校の中での取り組みですけれども、学校の大事なものは、人間関係の中で信頼関係をつくりながら取り組んでいくことがまず第一だと思います。日常の教育活動を地道に着実に進めていく中で、信頼を持ってそれぞれ一生懸命教育活動に取り組んでいけるような環境づくりに努めていきたいと思っています。

今もやっておりますさまざまな取り組みはあるんですけれども、できるだけいじめの対応について、先ほど言ったいじめについては、なかなか気がつかないというふうなことがあります。ただ、そうした中で、信号なり何なりを皆さんがすぐ気づくように、子供を通して解決できることも必要でしょうけれども、それを見守る大人のほうもちょっとアンテナを高くしていこうということで、教諭も含めて、今後対応していきたいと思っています。

**市長** ごみの減量化の問題はおっしゃるとおりだと思います、まだまだいろいろな努力によってごみは減らしていけるというふうに考えておりますので、今後ともいろいろな啓発活動であるとか、そういうような形で行政のほうとしても、できる限り皆様方のご協力をいただけるような努力をしていきたいというふうに考えています。

それから、いじめの問題については、私が教育委員会に対して指示をするというのは、今の制度上、建前としてはできないということになっておりまして、ただ、今回の9月議会でもいろいろな形で4人の議員さんのほうから、こういうようなことをやったらどうかという、かなり有益なご提言もいただきましたので、そういうのも取り入れてやってみたらどうでしょうかねという、そういう要請は教育長のほうにありますので、教育委員会のほうもそれを取り入れて、これからそのいじめを防ぐ、あるいは早期に発見して大ごとにならない段階で改善していくというような、そういうような具体的な取り組みをさらに強めていくという、そういう方向で今進めつつあるところです。

**意見** ちょっと先ほど1つ、回答がなかったもので、先生に訴えがあった場合、1人の先生ですと、それはないよということで見過ごして不幸な状態になったという例がありますので、1人の先生に相談があったらば、私は、校長初め一定の部分に、こういうものはどうかという投げかけながら、学校で対処しないといけないかなと思っています。1人の生徒が1人の先生に相談があった場合の対処の仕方はどうしているのか。

**学校教育部長** いじめだとか、そのほかの生徒指導上の問題もそうですけれども、大体校内で生徒指導委員会を開いて、そこで複数で対応を協議するような形が一般的です。あと緊急に対応しなくてはならない場合には、すぐに言って、家庭訪問等の対応をしたり、できるだけ1人にしないで、複数で理解していく形を今とっているのが基本です。

あと、それぞれの先生によってやり方が違ったりすると、問題を解決しないばかりか、逆に難しいケースも出てくる場合がありますので、そうした形については、校長会でも指導はしているところです。

**意見** 今いじめの問題がございしますが、いじめの問題については、過日12日に、夜、青少年を育てる市民会議というのが川越市にございまして、大勢の役員さんが各地区にいらっしゃるわけですが、学校の教育委員会の教育長も副会長として参加をしていただいて、今年度は、青少年を育てる市民会議のほうで重点事業ということで、今までと変わった予算組みをして、本年度はそういう事業のほうに重点を置こうということで、過日、役員会で決定をいたしました。

そういうことで、今後については、地域で育てて、地域と学校と家庭で子供を育てると言いながらも、学校は閉鎖的でオープンになっていないという指摘をいたしまして、教育長もそれを受けて、今回の重点事業については、地域と色々な形でかかわっていくということを強く申し上げて、教育長のほうからも各学校長にそういう指示を出すというお約束をいただきまして、そのような形が今度の総会で決定すれば、学校と地域と家庭で育てていこうと、それで親たちが見回り活動を強化しながら、そちらのほうを重点事業として活動している地域については、青少年を育てる市民会議のほうで予算組みをきちっとしていくというような形で、今回は予算の編成をさせていただいたという経過で、まだ役員会の決定でございしますが、そのような方向で進んでおりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

#### 《雨水対策》

**意見** 私どもの住んでいるところなんですが、16号国道が254に分岐しまして、254の両側でございまして。それで16号国道は、新宿に行くんです。それから南端のほうは不老川でございまして。不老川も改修されまして、2メートルぐらい堤防が高くなりました。先日の8月17日だと思ったんですけど大雨が降りました。それで、雨が降るとどうなるかという状況になると申しますと、16号国道のほうから旧道のほうへたくさんの雨水が流れてきます。また、不老川のほうから不老川が高くなりましたので、道路に降った雨が二丁目の中間のほうに向かって流れてきます。それで二丁目のちょうどセブ

ンイレブンのあたりのちょうど岸町の間部分なんですけど、それから254のほうに向かって水が流れていきまして、そこで50センチほど水がたまっちゃいました。それで、アパートの床下浸水になりました。そのときに、市役所の道路環境整備課ですか、5時ごろだったんで電話したんですけど、もういないだろうと思いましたが、いらっしゃいまして、6時半ごろ見に来ていただきました。危機管理もちゃんとされているのでよかったなと思ったんですけど、その後、何かやってくれるのかなと思ったけど、何の問い合わせもないということは、また何か言わなくちゃいけないのかなと思いました。言わなくても、何かご返事いただければと思います。よろしくお願いします。

**建設部長** 先だつての大雨のときに、岸町地内で不老川近辺でそういった被害が発生したというのは、道路環境整備課長から報告を私も受けております。たしか何カ所かあったと思うんですが、そのうちかなり大きなところは、国道254とそれから旧道の間が低い状態で、そこにどうも冠水してしまったという状況で、まずは抜本的な対策はともかくとして、そういった冠水状態を早急に改善しなければということで、車も進入するかもしれないということで、地元の皆様方のご協力もいただいて、たしか通行止めにした上で、ポンプ排水か何かをされたというふうにも聞いております。とりあえずは、まずはそういった応急対策しかとれない状況ではございますが、この放流先であります不老川までの水道をどのように確保していくのか、そういった抜本的な対策を講じなければいけないというふうに思いますので、応急的な対策を講じながらも、恒久的にあそこの岸町二丁目のあのエリアの災害がないように、未然に防げるように恒久的な対策は、手前どもの関係部署あるいは埼玉県も含めまして検討を重ねてまいりたいというふうに思いますが、大変恐縮でございますが、今のところ、これだけいこうという抜本的な策はまだ見出していないのが実情でございます。申しわけございません。

#### 《市役所の西口移転、西口の開発》

**意見** 市役所が西口に移転するといううわさを何年も前から結構聞いたりするんですが、西口の開発は一向に進まないようなので、今後そういう予定があるのかとか、西口の開発について少し聞いてみたいなという気持ちがございます。

**市長** 市役所が川越駅西口に移転するという、その話は白紙に戻しました、私が就任したときにですね。現状としては、西口に市が持っているかなり広い土地があるんですが、あれについても、ある意味ではもったいない使い方をしてきて、そのままになっていますので、この数年のうちには使い方を決めて活用していこうという、そういうことで今あの周辺の地域の人たちも交えて、どういうふうに使っていくのがいいの

か検討をし始めたところですが。この点については、後ほど都市計画部長から補足してもらいたいと思うんですが。市役所については、極めて大ざっぱに言って100億円ぐらいつくるにはかかるだろうという、そういうもくろみのもとに基金を積み立てていかなければというところなんです。私が就任したときに、基金としては5億円あったんですよね。就任した後、10年かけて毎年5億円ずつ積み上げれば55億円になると、残りは起債、借金で、そうすれば100億円できるから、立派な建物を建てるだけの金ができるという、そういうもくろみで始めたんですが、なかなか財政状況が厳しくて、今のところ、市役所建設基金は9億円、私が就任してから4億円ぐらいしか上積みできていないと、本当は毎年5億円ずつやりたいなと、積み上げたいなと思っていたんですが、そういう状況でちょっとお金の面でもなかなか見通しが立たないので、しかもこのところで耐震補強を、去年の地震があったことも含めて耐震補強をしなければならぬ、その工事を来年、再来年あたりにやるということになりますので、やっぱりそれにもきっと10億円から20億円の間ぐらいのお金がかかります。それだけのお金をかけて耐震補強をやったら、5年ぐらいのうちにもう使わなくなって新しい建物をつくるなんて、そういうことはなかなかできにくくなりますので、大まかな見通しとして、いましばらく今のところを使っていくと、市庁舎についてはそういう見通しでおります。

西口の活用については、都市計画部長のほうからお願いします。

**都市計画部長** まず、今、西口で重点的にやっておりますのが、西口の駅前広場の改修工事です。こちらのほうは今年度から工事着工いたしまして、駅前広場を改修するとともに、歩行者デッキというんでしょうか、ペDESTリアンデッキというのを南大塚線と、駅前通りのところにおろして、歩行者の安全性なり快適性を確保しようという事業を今実施しております。

加えまして、強力にやっておりますのが、350メートルぐらい行ったところの、今、南公民館のある近くのあの広大な市有地、県有地ですけれども、こちらのほうに今いわゆる西部地域振興ふれあい拠点という公共施設ですね、文化、総合的な文化ホールでありますとか、多目的ホールだとか、さまざまな公共公益的サービスが入るような施設、これにあわせて、その隣に民間のいわゆる商業施設、スーパーとか保育所だとかフィットネスであるとか、こういった民間のにぎわう施設のようなものを、今、拠点として整備をしてございます。これも今年度工事に入りまして、26年度中にはオープンさせるような形で考えております。

まずは、この第1期としては、こちらのほうに力を入れておるわけですがけれども、

次に、もう続いて数年のうちにと、今市長さんが申し上げましたが、やらなくてはいけないのが、今の駅前から150メートルぐらい入ったところの市有地、大体1ヘクタール弱ぐらいありますけれども、こちらの2つの、今駐輪場になっているところと、今、暫定的バスターミナルにしているところありますけれども、あそこの活用方策も早急に検討したいと、これがご指摘いただいた、過去に西口に市役所を移転したらいいのではないかという候補の土地だったわけですけれども、こちらが白紙になっておりまして、今、方向性としては南大塚線なり駅広のあたりが大分混雑していますので、送迎バスとかですね、こちらの送迎、交通結節点というような機能を導入したらどうかとか、やっぱりあの辺は緑のスペースとかオープンスペースが少ないですから、ああいうみんなが集えるようなオープンスペースにしたらどうかとか、駐輪場が足りないんじゃないかとか、そういったさまざまな観点から、今、導入機能を精査しておりまして、なるべく民間の力も借りながら、しっかりと皆さんに喜ばれるような活用をしていかななくてはいけないなど、このように考えております。

また、あわせて、先ほど申し上げたふれあい拠点の公共部分に、埼玉県地方庁舎がございまして、こういったところに、そちらに移転することになりますので、この跡地活用ということも一緒に考えていますので、これもまだ公にできるような段階ではありませんけれども、本当にこの数年のうちに具体化してまいりたいと考えております。

#### 《職員数》

**意見** 市役所に行ったときに、職員の方がとても多くて、いつもびっくりさせられるんですが、とても暇そうと言ってはいけないんですけど、対応していないのに、対応を頼んでいるのに、やっぱり暇そうにしているも、対応してくれない方とか見かけると、あんなに職員が必要なんだろうかと、そのときにも言ったことがあるんですが、どうお考えでしょうか。

**市長** 市の職員の数については、もうこの5、6年間ずっと減らす計画を立てて減らしてきています。残業についても極力減らせということで、そういう努力をしてくれています。ご指摘のような暇そうにしているとか、頼んでもすぐに動いてくれないとか、そういうご指摘、苦情はいただいておりますので、その点については、改善するよう指示を徹底していきたいというふうに考えております。

数が多過ぎるのではないだろうかという、そういうご指摘もありますけれども、特に福祉関係の部署は、人数がある意味では足りなくて、1人のケースワーカーが年間800時間とか、そういう残業をせざるを得ないというか、そういう状況もあって、そ

れもなるべくいろんな合理化によって減らしていくよう工夫はしているんですけども、そういう部署もあります。極力そういう必要な部署に人を集めて、比較的人数が少なくて済むところは少なくするような、そういう組織上の努力もずっと続けてはいるんですが、ご指摘のような苦情というのは、私が就任した直後からありますし、今もございますので、なかなか指示が徹底しないという、そういう面では大変申しわけなく思っているんですが、努力を続けていきたいと思えます。

決して職員が多過ぎるとすることは、私の印象としては、もうずっと削ってきて、この辺が均衡点なのかなというのに近づきつつあるような、そんな感じがします。要するに、これ以上削ってしまうと、1人当たりの残業がまた増えたり、あるいはいろんな問題が生じてくるというような、そういうことがあるのではないだろうかという、そういうことを私の個人的には思っていますが、これが最終的にはいろんな検討を加えて、さらにこの組織の制度改革を進めて、人を減らしていけるのかどうか、その辺のところは検討をしっかりとしていきたいというふうに考えます。

#### 《久保川・不老川の改修計画》

**意見** 先ほど水の話が出た関係ですけれども、岸町三丁目には久保川、不老川の支流ですね、これが通っております。最近、台風の時期になりますと、やはり水の心配が多くあります。不老川の、過日、これは平成21年ごろですか、タウンミーティングのときに不老川の改修云々という話も出ました。その後の不老川の改修計画ですか、どういう形になっておりますか、お聞きしたいと思います。

**建設部長** 不老川につきましては、埼玉県の管理でございますので、ちょっと手前どもでは計画策定等がかかわってはおりませんが、いわゆる激甚の関係で不老川の改修は進んだというふうに考えております。

手前どもで関係するのは久保川でございます。久保川につきましては、河川の改修計画等がございますが、まず第一に、先だつての大雨のときに、久保川の電源開発のあたりで、一部分道路が冠水するような、そういった被害もございました。そういったものを踏まえまして、なかなか抜本的に河川を整備するというのは大変財力が要るものですから、早急には厳しいとは思いますが、まずかなり傷んでいる部分もございます。護岸等で傷んでいる箇所等もございますので、そういったところをつぶさに調査いたしまして、まずはそういった補修作業をまず手がけていきたいというふうに考えておきまして、そういった計画を立てるに当たりましては、沿川に住まわれている地元の皆様方の貴重なご意見をいただきながら、ぜひ進めていきたいなというふうに考えております。

また、一方で、久保川の上流であります狭山市、こちらからの雨の量というのも大変影響しているのではないかというふうに考えておりますので、あわせまして狭山市に対しても、雨水が河川へ流出するのをできるだけ防ぐような、そういった協力も改めまして求めていきたいというふうに考えておりました、久保川全体といたしましては、川越市と狭山市とタッグを組みまして、全体の河川環境の改善に向けて進めていきたいというふうな考えを持っております。

**意見** 以前と比べますと、久保川の流域といいますか、川沿いに大分住宅ですとか多くできております。そうなりますと、水が直で川に流れ込むと、そういうことも考えられるんじゃないかなと、こう思っております。何しろ急激に水位が上がるんですね。今後ともひとつよろしく願いたいと思います。

#### 《高齢者リスト・要援護者リスト》

**意見** 高齢者社会に向かって、ひとり暮らし老人の対策の件でお尋ねなんです、つい先だっても、ひとり暮らしの人が1週間も前に亡くなっていたということが発見されました、非常に警察のほうの立ち会いやら検視やら、事件ではなかったんですが、そういったことで自治会長さんは何をやっていたんですかということが一言出まして、私は何もやっていませんでしたとはっきり言いました。何も、ひとり暮らしの老人のどういう生活しているのかさえも、実は名簿がないので全くわからないという現状があるんですね。その中で、私たちは把握をしながら、あそこにもこういう人がいるよ、あそこにもこういう人が1人にいるよということを、わずかでも聞いているんですが、民生委員さんが1人で把握でき切れない部分がありまして、もしできればお願いなんです、危機管理センターとかというところから、老人のひとり暮らしの人の名簿を発信させていただけるというお話を伺ったんですけども、一向にその名簿が届かない現状を把握しているわけです。ですから、もしプライバシーの問題云々のこともあるかもしれませんが、ぜひそういうことで、もしいただけるのであれば、自治会長あてぐらいに、そのひとり暮らしの老人に対する対策の一環として、名簿をいただけたらうれしいかなとお願いやら要望やら、お願いをしておきたいと思っております。よろしくどうぞお願いします。

**総務部長** 今のお話で、民生委員さんのほうに一定のそういう要件、ひとり暮らし、あと夫婦で65歳だったか、そういった対象の方の情報提供をさせていただくという話は、過去にさせていただきました。

民生委員さんにつきましては、特別職の地方公務員ということもございまして、一応個人情報保護の関係の部単位に委員会がございまして、そちらのほうの判断も仰い



だ中で、民生委員さんに対してはそういった情報を提供しましょうということでお話をさせていただいております。

今お話のあった自治会につきましては、私どものほうでどういうふうに出せるかどうかは、まだちょっと議論があるところでございます。民生委員さんにつきましては、そういった対応をさせていただくということで、一昨年そういったお話をさせていただきました。

あと一点、危機管理センターというようなお話がございましたけれども、今は防災危機管理課のほうで要援護者、災害時の要援護者の支援の仕組みをつくっておりまして、一定の要件、高齢者に限らず、障害のある方、そういった一定要件の方に登録制度をつくりまして、登録をされた方の情報につきましては、各自治会さんをお願いをして、支援の体制をつくっていただく、そういった仕組みを今考えております。大分遅くなってしまったんですけれども、9月の初めに、民生委員さんのほうには情報をお出しいたしまして、これから各自治会さんのほうに、そういった支援体制をつくるという意味合いのお願いを今後させていただきますので、こちらのほうはよろしくお願いをしたいというふうに考えております。

**市長** 長時間にわたりまして、皆様方からいろんなご意見、有益なご提案等をちょうだいしまして、本当にありがとうございます。

こういう形でなくても、例えば意見箱であるとか、あるいはストレートに要望、要請であるとか、そういう形でも構いませんし、これはこういうふうにやったほうがいいのではないかという、そういうご提案等もございましたら、通常の時でも構いません、意見箱等に入れていただけたらと思います。

いずれにしても、今日は、本当にお忙しい中をお集まりをいただき、有益なご意見をちょうだいしまして、本当にありがとうございました。